

山形から世界へはばたけ Iー海外でグローバル力を磨くー

1. テーマ

本学海外拠点を設置しているベトナム、中国、インドネシア、ケニア、ラトビア、ペルーの各協定大学に一定期間「学生大使」として赴き、日本語や日本文化をはじめ「日本」を紹介すると同時に、相手国事情や文化を学びつつ、現地学生との交流を通して「グローバル人材」に必要な能力を習得する。

2. 目標

- ①「グローバル人材」に希求される「自己認識と自己成長」の在り方及び日本文化について深く理解できるようになる。
- ②「グローバル競争社会」の姿をはじめ、相手国文化を深く理解できるようになる。
- ③人間としての基本的な「生き方」を身に着けることができる。
- ④異文化間コミュニケーション能力の向上及びアイデンティティ(Identity)の確立を図ることが可能になる。

3. 開講学年と受講条件

(1) 全学年

ただし、小白川キャンパスに在学している学生のみを対象とする。

(2) 全15回の講義全てに出席できること

(3) 現地実習中、健康面を含めた必要な自己管理ができること

4. 派遣先大学

- ・延辺大学（中国）
- ・ベトナム国家農業大学（ベトナム）
- ・ガジャマダ大学（インドネシア）
- ・ジョモケニヤッタ農工大学（ケニア）
- ・ラトビア大学（ラトビア）

※受入体制の都合上、カトリカ大学への後期派遣は行わない。

5. 派遣学生への支援内容

渡航補助金として、下記金額を派遣学生へ支給する。

また、本事業は、日本学生支援機構からの支援を受けていることから、渡航補助金は現地大学に到着したことが確認されてから支給する。

派遣先大学（国）	支援内容（上限額）
延辺大学（中国）	渡航補助金 6万円
ベトナム国家農業大学（ベトナム）	渡航補助金 7万円
ガジャマダ大学（インドネシア）	渡航補助金 7万円
ジョモケニヤッタ農工大学（ケニア）	渡航補助金 9万円
ラトビア大学（ラトビア）	渡航補助金 10万円

6. 講義スケジュール

	日にち	時間	内容
オリエンテーション	1月23日(月)	16:30～ 18:30	渡航前オリエンテーション
第1回	2月20日(月)	9:00～ 10:30	現地日本語クラス事情
第2回		10:40～ 12:10	「学生大使」としての講義
第3回		13:30～ 15:00	「学生大使」としての講義、演習
第4回～12回	2月21日(火)～3月19日(日)「現地実習」 *実習期間は、左記期間のうち2週間～1か月程度とし、国際交流室にて派遣学生の希望を勘案の上、調整する。		
第13回	3月22日(水)	9:00～ 10:30	帰国後報告会
第14回		10:40～ 12:10	「グローバル競争社会」における 「グローバル人材」について
第15回		13:30～ 15:00	総括講義

7. 申請方法と期限

別紙様式1「申請書」に必要事項を記入し成績確認表(写し可)を添えて、国際交流室へメールまたは持参にて提出する。

*成績確認表は前年度分まで記載されていること。1年次生は、前学期のみでよい。

平成28年12月12日(月) 17:00 国際交流室必着

8. 選考基準と結果通知

- (1) 「申請書」による書類審査
*審査完了後、各自へ結果を通知する。
- (2) 前年度までの成績
*1年次生は、前学期分を勘案する。

9. 成績評価

【基準】

- (1) 学生大使としての現地実習をやり遂げることが合格の最低基準
- (2) 更に、異文化を理解し、外国人と日常的なコミュニケーションを図ることができれば合格基準をクリアしたと評価する。

【方法】

参加態度、帰国後の報告会やディスカッションおよびレポートで総合的に評価する。

- (1) 学生大使としての現地実習・・・60点
- (2) レポート(山形大学海外派遣プログラム実施報告書)・・・30点

*このレポートは山形大学ホームページに掲載される。

(3) 報告会におけるプレゼンテーションやディスカッション・・・10点

【単位数】

2単位とする。ただし、平成28年3月期の進級および卒業評価対象単位とはならないため、注意すること。

10. 渡航準備について

下記については、各自において準備するものである。

(1) パスポート・ビザ

パスポートについては、各国ごとに必要有効残存期間が異なるので、必ず事前に確認し、必要な準備をすること。

滞在日数により、ビザが必要な場合があるので、派遣希望国の情報をよく確認し、必要な準備をすること。ビザの申請には時間を要するため、派遣決定後速やかに準備をすすめること。

(2) 航空券

派遣決定通知に記載された派遣期間に合わせ、各自で手配すること。現地到着時間は、平日午前9時～午後5時程度に限定する。なお、帰国時の現地空港出発については、休日可とする。

奨学金支給に際し、Eチケットの写しや領収書原本が必要となるため手配した際は、保管に気を付けること。

(3) 海外旅行保険

必ず出国日から帰国日までをカバーする海外旅行傷害保険に加入すること。

クレジットカード付帯の保険では、補償内容が十分でない場合があるため、別途加入すること。

(4) 予防接種

厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページなどを参考に、必要と思われる予防接種を受けること。

(5) 外務省海外旅行登録（たびレジ）登録

現地での危機管理情報の取得や緊急時の連絡のため、滞在先、滞在期間、渡航スケジュールが決定したら、外務省海外安全ホームページから「たびレジ」に登録をすること。

(6) 情報収集

派遣先国の情勢や危機管理情報について、事前に情報収集しておくこと。

参考リンク

- ・外務省海外安全HP

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

- ・厚生労働省検疫所HP

<http://www.forth.go.jp/>

- ・山形大学HP 学生大使について

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/ambassador/>

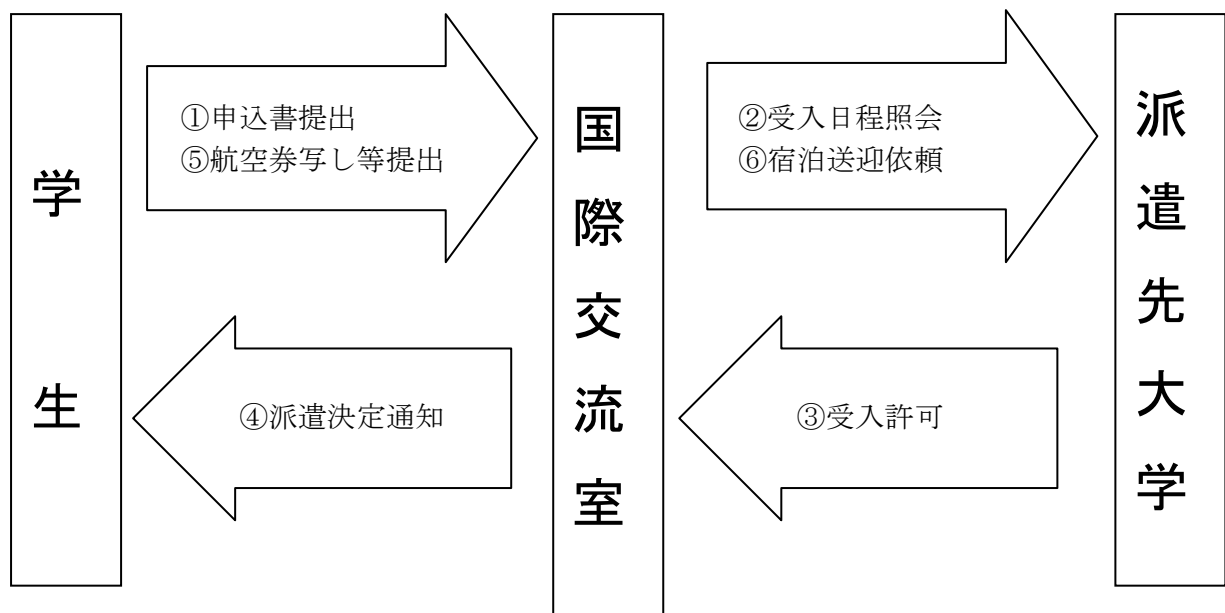
- ・山形大学HP 海外拠点情報

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/base/>

11. その他

現地の情勢や状況の変化等により、希望した国や期間の派遣が出来ない場合がある。

12. 申込みから派遣までの流れ



※派遣先大学との調整のため、派遣決定までは1ヶ月程度かかる場合もあります。

13. 問合せ・申込み先

派遣の決定や日程調整に際し、国際交流室からメールもしくは電話により連絡する場合がありますので、当室からの連絡を受着信できるよう設定をしておくこと。国際交流室からの連絡に応答のない場合は、危機管理に問題があるため申請を取り消すものとする。

教育・学生支援部国際交流課国際交流室 担当：星

TEL：023-628-4018 FAX：023-628-4491

E-mail：rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



派遣先大学紹介

*ここに記載の金額は、2週間滞在した場合の平均となっており、為替変動や渡航時期によっても変化するものである。

*ビザ情報については、変更になる場合があるので、各自各国大使館 HP 等で最新の情報を確認すること。

大 学 名	ベトナム国立農業大学 Vietnam National University of Agriculture 通称 VNUA 
国 名	ベトナム社会主義国
都 市	ハノイ
公 用 語	ベトナム語
ビザ情報	16 日以上滞在の場合または 30 日以内に 2 回入国する場合は 必要 となる
宿泊施設	大学構内の国際学生寮またはゲストハウス
費用の目安	航空券： 6 万円 ～ 11 万円 送迎費： 9 千円 ～ 1 万 2 千円（到着・出国日の往復） 宿泊費： 2 万円 ～ 3 万円（部屋のタイプによる） 滞在費： 3 万円 ～ 4 万円（上記の費用を除く食費・交遊費など）
治安・衛生等の 現 地 状 況	治安状況：人の多い観光地や混雑するバスの車内などでは、ひったくり・スリ・置き引きが頻発している。 シクロやバイクタクシーを利用し運転手から高額請求をされたという例が多く報告されている。 衛生状況：現在、深刻な感染症等の流行は報告されていない。6 月～11 月は雨季となり高温多湿となるため、食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。 交通事情：自動車やバイクが通行区分や規制を無視して道路に溢れている状況のため、非常に危険。道路を横断する際は、現地の学生と共に行動すること。
特 記 事 項	・平成 24 年度から山形大学生および職員を派遣しており、平成 27 年度までに延べ 88 名が学生大使・職員大使として訪れている。 ・本部前の池のほとりに、山形大学の記念樹が植えられている。 ・物価が安く、食事代は 1 食 80 円～300 円程度。
先 輩 か ら の メ ッ セ ー ジ	・ベトナムに行って本当に良かったと思います。何よりベトナムで会ったみんなと楽しく 3 週間を過ごせたことが良かったです。迷っているなら、是非参加してほしいです！ ・オシャレなカフェもあり、ベトナム人学生の友達とよく行きました。今回で 2 回目となりますが、プライベートでも行きたいと思うくらいとても好きな国となりました。

大 学 名	延辺大学 Yanbian University 
国 名	中華人民共和国
都 市	延吉市
公 用 語	中国語
ビザ情報	16 日以上の滞在の場合は必要となる ビザ申請に係る招聘状は国際交流室から延辺大学へ依頼する。
宿泊施設	大学構内の国際学生寮
費用の目安	航空券： 6 万円 ～ 14 万円 送迎費： 無料 宿泊費： 無料 滞在費： 3 万円 ～ 5 万円
治安・衛生等 現地状況	治安状況：繁華街，空港，レストラン，タクシー，バスや列車の車内において，スリや置き引きが頻発している。 衛生状況：現在，延吉市周辺での深刻な感染症等の流行は報告されていないが，中国国内では鳥インフルエンザによる死亡者が報告されている。家禽類との接触は避けるとともに，手洗いの徹底を心がけること。 交通事情：自動車との接触事故が多発している。また，中国では車は赤信号でも右折可能なため，歩行者信号が青でも注意すること。
特記事項	・平成 26 年度から山形大学生および職員を派遣しており，これまで延べ 16 名が日本語チューターとして訪れている。 ・夜間はキャンパス内がライトアップされ，夜景がきれい。 ・日本語学科があり，3 年生以上には日本留学経験を持つ学生が多い。 ・中国で最も多くの朝鮮族が居住する地域のため，市内のほとんどが漢字とハングルとの併記になっており，中国語や中国文化だけでなく韓国語や韓国文化に興味のある学生にもお勧めの大学。 ・全学向けの日本語クラスの他，日本語学科の学生のために実際に教壇に立って授業をする。 ・派遣時期は9 月と 3 月のみ
先輩からの メッセージ	・中国と聞くと，反日感情や大気汚染などネガティブなことばかり浮かんでしまうかもしれませんが，実際に行くと本当に楽しいです。 ・一人で渡航したため不安はありましたが，現地の方々の気遣いや優しさを肌で感じ，渡航前の不安がなくなり，毎日を楽しく過ごせました。 ・多くの学生が日本に留学したいという目標を持っているため，少しでもそのサポートをすることができたのではないかと思います。何より延辺大学に多くの友達ができて，とてもうれしく思う。

大 学 名	ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada 通称 UGM (ウゲム) 
国 名	インドネシア共和国
都 市	ジョグジャカルタ
公 用 語	インドネシア語
ビザ情報	30 日間以内の観光目的の滞在に限り、不要。 ※ただし、スカルノハッタ空港、ングラライ空港、クアラナム空港、ジュアンダ空港、ハンナディム空港以外を使用する場合は、ビザが必要となる。 (2015 年 6 月 12 日より施行)
宿泊施設	大学構内ホテル (ツインルーム)
費用の目安	航空券： 9 万円 ～ 12 万円 送迎費： 600 円 ～ 1000 円 宿泊費： 4 万円 ～ 4 万 5 千円 滞在費： 4 万円 ～ 6 万円
治安・衛生等 現地状況	治安状況：旅行者を狙ったスリやひったくりが増えている。 衛生状況：現在、深刻な感染症等の流行は報告されていない。通年 27～28 度の高温多湿の熱帯気候であり、10 月～3 月は雨季となり高温多湿となるため、食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。 交通事情：道路が未整備な上に通行量が多い。2 人乗りのバイクが多く、マナーや交通規則を無視した運転車も多いため、外を歩く時には細心の注意を払うこと。
特記事項	・平成 26 年度から山形大学生および職員を派遣しており、平成 27 年度までに 25 名が学生(職員)大使として訪れている。 ・18 学部から成る総合大学であり、インドネシア最大の名門国立大学。 ・農学部教員の中には、山形大学 (岩手大学農学連合大学院) 出身者もいる。 ・国民の 80%以上がイスラム教徒ということもあり、大学構内にもモスクが建てられている。
先輩からの メッセージ	・みんなともて優しくしてくれたので、心配することはないと思います。本当に楽しい場所なので、不安に思うことなく過ごしてください。 ・日本語をととても上手に話せる学生も多く、英会話に自信がなくても楽しく過ごせます。 ・私は 2 週間を現地で過ごしましたが、2 週間はとても短く感じています。1 か月行けるのならば、1 か月行った方がいいです。 ・学生達は英語が堪能で、こちらの言いたいことを汲んでくれるので、恐れなくてコミュニケーションを取ることが大切です。

大 学 名	ジョモケニヤッタ農工大学 Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology 通称 JKUAT（ジェイカット） 
国 名	ケニア共和国
都 市	ナイロビ
公 用 語	英語 国語はスワヒリ語
ビザ情報	入国の際に必要となる
宿泊施設	大学構内の国際学生寮・学生寮・ゲストハウス（空き状況による）
費用の目安	航空券： 18 万円 ～ 26 万円 送迎費： 2 千円 ～ 4 千円 宿泊費： 4 千円 ～ 6 千円 滞在費： 4 万円 ～ 6 万円
治安・衛生等 現地状況	治安状況：ナイロビ中心街では窃盗や武装集団による強盗、麻薬に関する犯罪が横行している。ホテルや混雑した市内における置き引き、スリ、窃盗が日常的に発生している。2015 年ナイロビ市内において外国人や富裕層が多く利用するショッピングモールをターゲットとしたテロ事案が 2 件発生している。また、信号待ちの車を狙った強盗も頻発している。 衛生状況：インフラ整備が進んでいないところが多く、電力供給が不安定なこともあり、生鮮食料品の保存に問題が生じることもあるため、注意が必要。WHO により黄熱病予防接種の推奨地域に挙げられている。 交通事情：ウィンカーやヘッドライトが作動しないなどの整備状況の悪い車両も多く走行しており、道路状況も悪いことが多いため、歩道のない道を歩く際は、細心の注意が必要。
特 記 事 項	・平成 25 年度から学生大使派遣により学生及び職員を派遣しており、これまでに 10 名が訪れている。 ・国立公園などがあり、休日にはサファリを楽しむこともできる。
先輩からの メッセージ	・アフリカという山大生にとって未開の地に行けて、本当に良かったと思います。ナクル国立自然公園はとても美しく日本では見ることができない大地の恩恵を授かった気がしました。 ・ケニアなんて、自力ではまず行けない国なので、今回は本当に良い経験になりました。現地で受入れてくれる人がいる安心感は絶大なもので、その土地の人々の目線が味わえる体験なんて、普通の旅行じゃありえません！世界って広い！！ 

大 学 名	カトリカ大学 Pontificia Universidad Catolica del Peru 通称 PUCP (プック) 
国 名	ペルー共和国
都 市	リマ
公 用 語	スペイン語, ケチュア語
ビザ情報	ペルー入国についてビザは必要ないが, アメリカを経由し渡航する場合はESTA登録が必要
宿泊施設	ホームステイ
費用の目安	航空券: 20万円 ~ 25万円 送迎費: 4千円 ~ 6千円 宿泊費: 3万円 ~ 4万円 滞在費: 4万円 ~ 6万円
治安・衛生等 現地状況	治安状況: 拳銃等の武器を使用した強盗事件が多発している。スリ, ひったくりのほか, スマートフォンやカメラを狙った強盗, 銀行や両替所で現金を引き出した後を狙った強盗も発生している。また, 信号待ちの車を狙った強盗也多発している。 衛生状況: 2015年5月以降, ジカウイルス感染症の感染例が報告されている。リマ市内は, 車の排気ガスにも注意が必要。 交通事情: 近年の急激な自動車の普及に交通インフラ, 交通規範の遵守意識が追い付いておらず, 交通事情は劣悪である。信号無視, ウィンカーの不使用, 一時不停止等が常態化しているため, 街中を歩く際は十分な安全確認が必要。
特記事項	・平成25・26年度に短期派遣プログラムとして20名の山大生を派遣するほか, 交換留学生として3名, 学生大使として1名の山大生を派遣している。 ・広大なキャンパスの約半分は緑というエコキャンパスで, シカやリスに出会うことも多くある。 ・インカトレイルと呼ばれる遺跡が大学構内にある。 ・スペイン語を学びたい学生にもお勧めの大学。 ・平成28年5月山形大学のサテライトオフィスが設置された。
先輩からの メッセージ	 ・新しい発見や, そこから学んだことなど, たくさんのことを吸収することができました。とにかくエキサイティングな旅だったと思います。 ・ペルー料理もネットで調べればレシピもわかるしお店で食べることもできるけど, ペルーのあの空気感の中で食べることに意味があると実感した。 

大 学 名	ラトビア大学 Latvijas Univesitate 
国 名	ラトビア共和国
都 市	リガ
公 用 語	ラトビア語
ビザ情報	シェンゲン協定実施国に入国した日から90日以内の滞在の場合は不要
宿泊施設	国際学生寮
費用の目安	航空券：12万円 ～ 20万円 送迎費：3千円 ～ 5千円 宿泊費：1万5千円～ 2万円 滞在費：5万円 ～ 7万円
治安・衛生等 現地状況	治安状況：混雑した公共交通機関や観光地などの人混みにおけるスリや窃盗事件が多い。夏の観光シーズンは、旧市街地域や中央駅周辺において薬物利用者や酔っ払いの数が増加する傾向にあり、特に夜間の旧市街では酔っ払いによる突発的な傷害事件も報告されている。 衛生状況：リガは真冬には摂氏マイナス30℃になることもあり湿度も下がるため、風邪などへの注意が必要。草原や森林地帯でダニ刺されることにより感染するダニ脳炎が風土病としてある。 交通事情：冬は雪や凍結により路面が滑りやすくなるため、転倒に注意が必要。また、自動車が道路の凹凸を避けるため予期せぬ動きをとることがあるので、歩道のない道を歩く際は注意が必要。
特記事項	・リガの旧市街は街全体がUNESCOの世界文化遺産に登録されており、中世の古い石造りの街並みに触れることができる。 ・平成26年度から学生大使派遣を開始し、これまでに学生職員合わせて36名が訪れている。 ・日本語教室には、現地大学生のほか近隣の中学・高校に通う学生や社会人、主婦など幅広い年齢層の受講生がいる。
先輩からの メッセージ	・初めての海外で非常に緊張していたが、現地の学生と仲良くなり、リガの綺麗な町を散策しているとずっとここにいたいと思うようになった。   ・ラトビアの学生さんは学習意欲が高く、純粋に「日本語」を学びたいという人が多いです。授業に来る学生さんの学習状況やニーズをふまえて、授業プランを考えることが大切だと感じました。